

令和5年度

事業計画書

社会福祉法人 やまなみ会

- ・ 特別養護老人ホーム なでしこの里
- ・ ショートステイ なでしこの里
- ・ なでしこデイサービスセンター

目 次

1. はじめに	1
2. 経営方針	1
3. 全体の事業方針と取組	1
4. 各事業所の取組	
(1) 特別養護老人ホームなでしこの里	1
(2) ショートステイなでしこの里	2
(3) なでしこデイサービスセンター	2
5. 専門部署の取組	
(1) 看護部	3
(2) 栄養部	4
6. 各事業所行事計画	5
7. 職員研修計画	6～7
8. 防災訓練計画	7

1. はじめに

昨年度までは新型コロナウイルス対応に振り回されてユニットケアの推進も困難な部分もありましたが令和5年5月より感染症5類と位置づけられることになり、情報を的確に把握して感染対策を取っていきます。地域密着型施設としては、認知症への対応力向上に向けた取り組みやユニットケアの充実を図り、利用者の尊厳を保持し住み慣れた地域で生活が出来るよう支援していきます。そのためにも、介護スタッフの高齢化や人材不足に直面している今、慢性的な人材不足の解消を図るために令和4年度から新たに取り入れた特定技能外国人の定着、育成を図ると共に、介護の省力化を図るための施設整備やテクノロジーの導入に積極的に取り組みます。また地域や家族等への情報発信を定期的に行っていきます。

2. 経営方針

法人理念「共に支え、共に生きる」のもと、地域密着型施設として村民・利用者の皆様方から、信頼され、頼りにされる施設を目指します。

3. 全体の事業方針と取組

(1) 感染症対策

*詳細は看護部取組①②同様

(2) 認知症への対応力・ユニットケアの充実を図り、住み慣れた地域での生活を支援

- ①認知症に関する施設内研修の実施（研修計画）
- ②認知症介護基礎研修の受講
- ③介護福祉士取得に向けての実務者研修の受講
- ④ユニットリーダー研修の参加（介護福祉士取得者）
- ⑤定期的なユニット・部署・事業所会議の開催
- ⑥緊急利用時の積極的な受け入れ
- ⑦居宅介護支援事業所・行政等との連携（運営推進会議・地域ケア会議の参加等）
- ⑧食べたいものを考え選び、触れて食べることで五感を刺激し食べる喜びや楽しみを感じてもらう食事の提供
- ⑨嘱託医や専門医等の医療機関との連携

(3) 特定技能外国人の雇用

- ①特定技能外国人の担当者を決めて育成
- ②あその杜と育成について情報共有・育成の協力

(4) 施設整備やテクノロジーの導入

- ①記録のICT化（タブレットでの記入）
- ②介護ロボット（見守りシステム）の導入
- ③職員の情報共有にSNS（LINEグループ）を利用

(5) 情報発信

- ①広報誌（なでしこ便り）を毎月発行
- ②SNS（公式LINEアカウント）により定期的に情報提供

4. 各事業所の取組

(1) 特別養護老人ホームなでしこの里（定員29名）

①うめユニット

利用者が穏やかに、安心して過ごせる事ができるような環境を作り、たくさんの笑顔を引き出せるように支援していきます。

- (ア) 環境の問題点や工夫が必要な事を明確化、問題解決アプローチを繰り返し実践
- (イ) 利用者の思いや意見を聞き取った環境作り（リビング・居室）

②ももユニット

日常生活で様々な役割をもって頂き、生きがいのある生活が出来るように支援していきます。

- (ア) 利用者の状態や思いを把握し、本人の意思を尊重した支援（個別支援計画）
- (イ) 日常生活の中での、役割や生きがいの実施
- (ウ) レクリエーションなど楽しめる活動の充実

③すみれユニット

楽しさや幸せを感じることが出来るよう、その人らしい生活を目指して支援していきます。

- (ア) 施設にいるから出来ないではなく、その方だから出来ること・楽しめることを実施
- (イ) 日常ケアの中に楽しみを取り入れた環境づくり（リビング・居室）

(2) ショートステイ なでしこの里（定員8名）

①入居前と入居後が継続する暮らしへの支援

- (ア) 緊急の入居に対し、急激な環境の変化や認知症等の状態に配慮した支援
- (イ) その人らしさを尊重し、出来る力を引き出す環境作り
- (ウ) 小規模で家庭的な生活環境での支援

②感染予防及び身体機能の維持向上のための支援

- (ア) 入所前の医療情報の把握や体調チェック（感染症予防含む）
- (イ) 身体機能の維持向上のための支援（生活リハビリ等の実施）

③その他

- (ア) 利用者及び家族等より状況の把握及び思いの聞き取りを実施
- (イ) 緊急時受け入れ体制マニュアルの実施

(3) なでしこデイサービスセンター（定員12名）

①認知症の予防

- (ア) LIFE のデータ活用と MMSE 測定（年 4 回）結果等を基に利用者の認知機能を把握し、個々に合わせた支援の実施
- (イ) 利用者の家族や関係機関等と情報共有
- (ウ) 認知症へのアプローチを多く取り入れて活動プログラムの提供

②生活機能の維持・向上

- (ア) LIFE のデータ活用と体力測定（月 1 回）結果を基に利用者の心身機能を把握し、体操・機能訓練・生活リハビリの実施
- (イ) 利用者の趣味活動等（レク、行事など）の実施

5. 専門部署の取組

(1) 看護部

①感染予防対策の徹底

『持ち込まない』『広げない』を基本に、なでしこの里「感染予防マニュアル」厚生労働省「感染対策の手引き」などに沿った感染予防対策の徹底を図っていきます。

- (ア) 職員の毎朝自宅と入館前の体温測定。37.5° C 以上の発熱等感染が疑われる場合は解熱して 2 日経過するまで自宅待機
- (イ) 入所者は毎朝体温測定を行い 37.2° C 以上の発熱あるときは居室対応
- (ウ) 施設内の消毒の徹底と職員のマスク着用、3密を防ぐなど対策を徹底
- (エ) 感染症発生状況の把握のため、産山村や医療機関と連携・情報共有
- (オ) 感染対策委員会の開催及び職員への研修とシミュレーションを実施

②感染拡大防止対策

感染者が出た場合はゾーニングの実施、隔離の実施を素早く行い消毒の徹底などの指示を的確に出して感染拡大防止に努め、事業継続計画にのっとり関係スタッフと連携してサービスの提供を維持

③健康診断と健康管理

- (ア) 健康診断
 - a 入所者健康診査：採血、検尿、血圧、肥満度（8月、3月）、胸部 X-P 検査（10月）
 - b 職員健康診査 JA 厚生連委託（10月、3月）*3月は夜勤対象者
- (イ) 健康管理
 - a 毎朝のバイタル測定の実施
 - b 嘱託医による毎月 3 回の訪問診療
 - c 歯科衛生士による口腔機能のチェック及び指導 月 2 回

④身体機能の維持向上

- (ア) 理学療法士による実技と指導 月 2 回 評価
- (イ) 機能訓練指導員による実技と 3 か月ごとの評価
- (ウ) 介護職員と共同して生活リハビリの実施

⑤異常の早期発見と重症化防止

- (ア) データや身体症状の把握、観察を行い異常の有無の把握
- (イ) 重症化予防のため、異常時は早めの病院受診
- (ウ) 病状の変化について嘱託医や家族などへ随時相談・連絡

⑥看取りの取り組み

- (ア) 終末期の在り方についての希望を入所時及び定期的に本人や家族から聞取り
- (イ) 本人や家族への必要な情報などを提供
- (ウ) 看取りを行うために必要な職員研修の実施

(2) 栄養部

①栄養・給食管理

- (ア) 他職種と連携しながら個々に見合った食事の提供と適切な栄養管理
- (イ) 嗜好・残食を評価して献立に反映

②衛生管理

食中毒予防のため、個人衛生管理と厨房内の衛生チェックを徹底

③楽しい食事環境作り

- (ア) バイキング料理の充実（実演提供、見た目の演出）
- (イ) リクエスト献立やセレクト献立導入

④利用者と栄養部職員との関わり

職員と一緒に利用者も料理作りに参加（野菜の皮むき、おやつ作り等）

⑤地産地消の活用

地域の生産者とのネットワークづくりを行い、地元食材を積極的に使用

⑥非常時の体制づくり

災害および感染症発生に備えて備蓄品の管理・補充の徹底

6. 年間行事計画

(1) 特別養護老人ホームなでしこの里・ショートステイなでしこの里

月	施設全体	栄養	すみれユニット	うめユニット	ももユニット
4			花見： 扇森稲荷神社	外出： 杖立鯉のぼり	花見： 扇森稲荷神社
5			アフリカンサファリ	創作活動 (表札作り)	
6	サツマイモ苗植え		ショッピング	種植え(向日葵)	外出：但馬屋
7	ジャガイモ収穫祭	おやつバイキング		買い物	買い物
8	納涼祭・花火	うなぎ弁当			
9	敬老会昼食弁当	敬老会弁当			熊本動植物園
10			外出：原尻の滝	日帰り旅： うみたまご	
11	芋の収穫祭	昼食バイキング	ショッピング	外食	紅葉見学西巖殿 寺買い物
12	クリスマス会	クリスマス食事			
1	どんどや		阿蘇神社初詣	阿蘇神社初詣	阿蘇神社初詣
2	節分豆まき	おやつバイキング	節分豆まき	節分豆まき	節分豆まき
3	家族会総会 高菜折り・高菜漬 け・芋植え	お雛様プレート			外食

(2) なでしこデイサービスセンター

月	施設全体行事	デイサービス独自
4月		鯉のぼり作成 花見外出
5月	バイキング(昼食)	野菜プランター栽培(きゅうり・大葉・ミニトマト) おやつ作り(抹茶どらやき)
6月	サツマイモの苗植え	七夕飾り作成 団扇作成
7月	ジャガイモの収穫祭	ひまわり壁画・冷や汁作り
8月		おやつ作り(豆腐マシュマロアイスとみたらしソース)
9月	敬老会	グランドゴルフ大会 秋桜壁画 外出(買い物)
10月		紅葉壁画 編み物・置き物作成
11月	里芋・から芋の収穫祭 バイキング(おやつ)	クリスマス飾り作成
12月	クリスマス会	おやつ作り(ケーキ)
1月	どんどや	初詣外出

2月		節分(豆まき) 桜壁画 おやつ作り(しらす煎餅)
3月	高菜折・漬け、芋植え	グランドゴルフ大会 外出(買い物)

7. 職員研修計画

(1) キャリアパス段位を取り入れたOJTによる職員の現任教育研修計画

対象者		期間	内 容	評 価
新人研修	採用時	1～3月	① 介護職員として働く心構え ② ユニットケアとは ③基本的な介護技術など	1月後、補足
認知症介護基礎研修	1年未満	1日	① 認知症に関する基礎知識を持つ ② 権利擁護、倫理、理念の意味がわかる。	
キャリアパスレベル2の①	1～3年未満	3～6月	基本介護技術の実践 ① 入浴介助 ② 食事介助 ③ 排泄介助 ④ 移動移乗体位交換 ⑤ 状況の変化対応	3～6月 期首、中間、期末
キャリアパスレベル2の②	3～5年未満	3～6月	利用者ニーズや状況の変化に応じた介護の実践 ① 状況の変化に応じた対応(咳やむせ、便・尿の異常。皮膚の異常、認知症対応困難な行動等) ② 利用者特性に応じたコミュニケーション ③ 感染症対策・衛生管理ができる ④ 上司等に相談苦情報告、ヒヤリハット、事故発生の状況報告を上げることができる	3～6月 期首、中間、期末
キャリアパスレベル3	5年以上及びリーダー	3～6月	介護過程の展開、終末期ケア等、専門性との多職種連携・相談苦情の対応と対策の実践 ① 事故防止の対応策を立て実践することができる ② 身体拘束廃止の取り組みができる ③ 終末期ケアの対応ができる	3～6月 期首、中間、期末
キャリアパスレベル4	主任クラス	3～6月	地域包括ケアシステム&リーダーシップの実践 ① 地域包括ケアシステムを実践し、地域との連携強化を図ることができる ② チーム内でリーダーシップを発揮し、部下に対して記述指導、業務支援、評価を行うことができる	3～6月 期首、中間、期末

(2) オンライン研修・社会人としての基本的姿勢やコミュニケーションなどの接遇研修

月	内 容	対象、方法等
4	R5 年度事業計画及び予算について	職員会議後
5	接遇、コミュニケーション技術 研修	ZOOM
6	認知症ケア研修 (防災訓練)	事例を通して
7	感染症予防研修	職員
8	身体拘束廃止、高齢者虐待防止研修	ZOOM
9	ユニットケアについて (防災訓練)	ZOOM
10	認知症ケア研修	ZOOM、事例を通して
11	感染症予防シュミレーション	ZOOM
12	看取り介護研修	ZOOM
1	ハラスメント防止研修	ZOOM
2	身体拘束廃止、高齢者虐待防止研修	事例を通しての検討
3	介護保険法関係 (防災訓練)	職員会議後

(3) 職員配置に係る研修 (予定人数)

- ② 認知症介護基礎研修—無資格の介護従事者対象 (3名)
- ② ユニットリーダー研修 (3名)
- ③ 介護実務者研修 (1名)
- ④ 介護支援専門員更新及び研修 (2名)
- ⑤ 主任介護支援専門員研修 (1名)

8. 防災訓練計画

- 6月：水災害避難訓練
- 9月：火災・地震災害等避難訓練
- 3月：夜間想定火災避難訓練